

東芝浴室換気乾燥機取付説明書

販売店・工事店さま用

形名

2室換気用・24時間タイプ

DVB-18SW1

3室換気用・24時間タイプ

DVB-18ST1



この浴室換気乾燥機の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。

この取付説明書は工事完了後、別冊の取扱説明書とともに必ずお客様にお渡しください。

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限（火災予防条例に基づく指導）がありますので、詳細は行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください。
（本製品は（社）日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております）

もくじ

安全上のご注意	2 ~ 3
取り付け上のお願い	4
製品寸法	5
付属品	6
結線図	6
施工手順	7
取り付け方法	7 ~ 11
電気工事	12 ~ 14
リモコンの取り付け	15 ~ 16
衣類吊り下げパイプの取り付け	16
試運転および初めて電源を入れる場合	16

取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、この取付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。



安全上のご注意

取付の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

表示の説明




表示	表示の意味
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定される内容”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定される内容”を示します。

*1:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

*3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 注意	△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

警告

改造はしない

火災・感電・けがの原因になります。



改造禁止

本体各部やりモコンに水をかけたり、水につけたりしない

漏電により火災・感電の原因になります。



水かけ禁止

煙突排気の燃焼器具がある住宅に据え付けるときは、十分大きな空気取入口を別につける

排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。



給気を確実に

修理技術者以外の人は、分解・修理()をしない

火災・感電・けがの原因になります。
修理は、お買上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。



分解・修理禁止

メタルラス張り、ワイヤラス張りまたは金属板張りの木造の造営物に金属ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないように取り付ける

漏電したとき、火災・感電の原因になります。



接触注意

アースを確実に取り付け、漏電遮断器を設ける

故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。
アースの取り付けは販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。



アースを接続する

内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。



取付禁止

電源用SL端子のアース接続部には電源電線を接続しない

火災・感電の原因になります。



接続禁止













電源は交流100Vを使う

交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。



交流100V使用

⚠ 注意

<p>電気工事・アース工事は電気工事士（ ）が行う 電気工事士以外の人が工事をすると、火災・感電・けがの原因になります。 電気工事士への依頼は、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。 電気工事士が実施</p> <p style="text-align: right;"></p>	<p>電源電線の接続は電気設備技術基準や内線規程に従って、安全・確実に 電源電線の接続は機械的な方法で確実に接続する 接続不良や誤った配線工事は火災や感電の原因になります。 確実に行う</p> <p style="text-align: right;"></p>
<p>本体は、十分に強度のあるところに 確実に取り付ける 落下によりけがの原因になります。 確実に取り付ける</p> <p style="text-align: right;"></p>	<p>炎が接近したり、あたる恐れのある場所には取り付けない 火災の原因になります 取付禁止</p> <p style="text-align: right;"></p>
<p>浴室にはリモコンを取り付けない 感電や故障の原因になります。 取付禁止</p> <p style="text-align: right;"></p>	<p>本体カバーや部品は、確実に取り付ける 落下によりけがの原因になります。 確実に取り付ける</p> <p style="text-align: right;"></p>
<p>取り付け後、長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による火災・感電の原因になります。 ブレーカーを切る</p> <p style="text-align: right;"></p>	<p>電源電線は専用の分岐ブレーカー（20A）より配線する 他の機器と併用した場合、電源電線が発熱し火災の原因になります。 確実に行う</p> <p style="text-align: right;"></p>
<p>製品の取り付けのときは、手袋を着用する 手袋を着用しないと、けがの原因になります。 手袋着用</p> <p style="text-align: right;"></p>	<p>ファンやヒーターに触れたり、指や物を入れない 感電、けが、やけどの原因になります。 接触禁止</p> <p style="text-align: right;"></p>
<p>電源用SL端子にはトイレ（外部）スイッチ連動用接続電線を接続しない トイレ（外部）スイッチが焼損し、火災の原因になります。 接続禁止</p> <p style="text-align: right;"></p>	<p>換気連動出力用SL端子にはAC100V入力を接続しない 製品本体内部の電源基板が破損します。 接続禁止</p> <p style="text-align: right;"></p>

取付上のお願い

故障の原因となりますので、次のような場所には取り付けないでください。

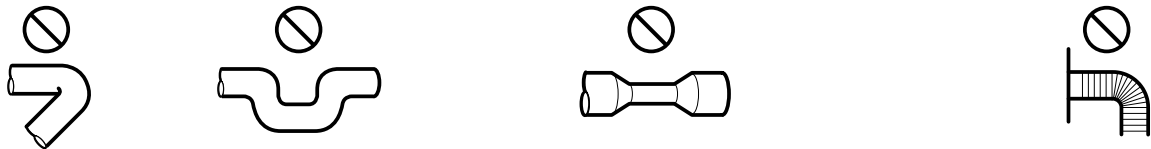
1. 高温（40℃以上）になる場所
2. 台所など油煙の発生する場所
3. 有機溶剤やスプレーを使う場所
4. 腐蝕性ガスの発生する場所（温泉、プールなど）
5. スチームサウナ付浴室

本体を断熱材で覆わないでください。

次のようなダクト工事はしないでください。

風量低下や異常音発生の原因になります。

- (1) 極端な曲げ (2) 多数回の曲げ (3) 接続ダクト径を極端に小さくする (4) 排気口のすぐ近くでの曲げ



この製品は浴室の天井取り付け専用です。

標準適応サイズは1616サイズのユニットバスです。浴室が大きい場合、窓が大きい場合、タイル貼りの浴室、その他断熱が悪い場合、予備暖房・乾燥効果が減少します。

この製品は2室または3室換気専用です。

浴室ダンパーが閉じているときに換気すると、故障の原因になりますので、1部屋（浴室のみ）では使用しないでください。

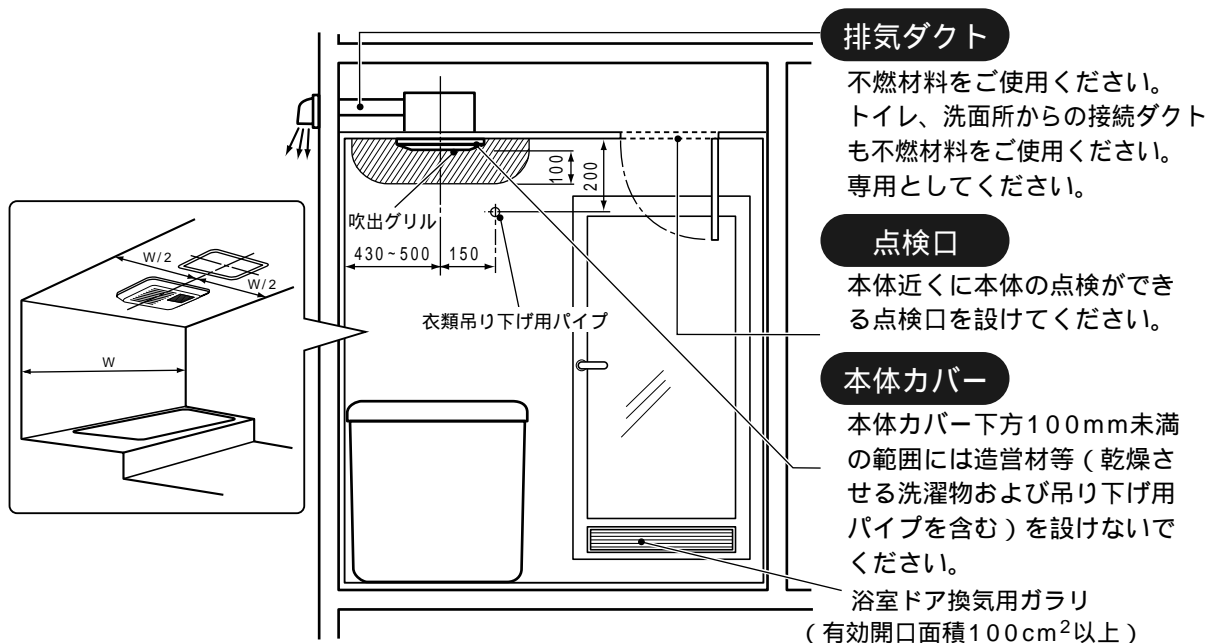
この製品は住宅の24時間常時換気システムとして使用できます。

その場合には、居室と居室以外の部屋とを隔てている建具の換気経路（有効開口面積で100～150cm²）を確保する必要があります。

雨水や鳥などの侵入を防ぐためのフード（システム部材）などを取り付けてください。

製品の取り付けには下記のような規制がありますのであらかじめご確認ください。

- ・地域により防災上での制限（火災予防条例に基づく指導）が異なりますので、所轄の行政官庁または消防署にお問い合わせください。
- ・本製品は消防法基準適合品です。（（社）日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております）



本体および衣類吊り下げ用パイプ（市販品）の設置は上図の寸法の位置に取り付けてください。

電源電線、リモコンコードは本体がおろせるように2m以上の余裕をもたせてください。（短いとメンテナンスできなくなります）

空気の入入口（浴室ドア換気用ガラリなど）を設けてください。

有効開口面積100cm²以上

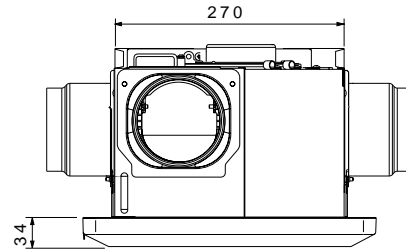
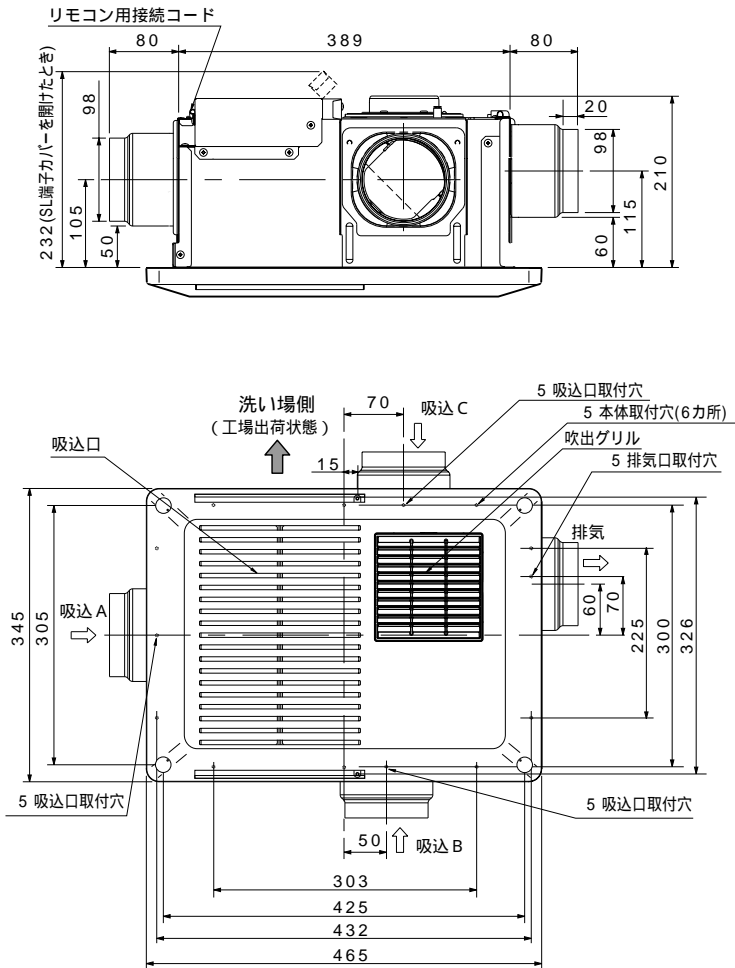
製品寸法

本体

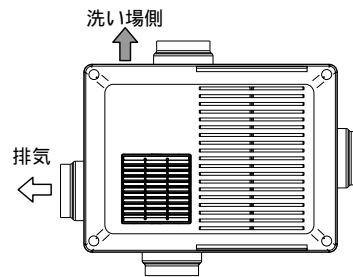
吸込方向は3方向から選択できます。

イラストはDVB-18ST₁ (3室換気用)

(単位mm)

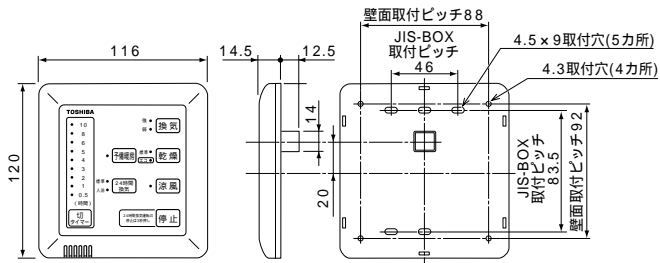


下図のように本体を反転して取り付ける場合は、吹出しグリルが洗い場側を向くように付け換えてください。

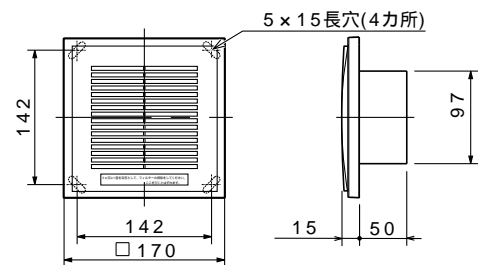


リモコン (別売部品)

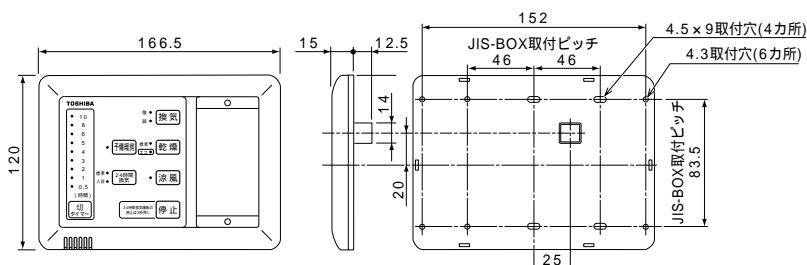
DBC-18SA



吸込グリル



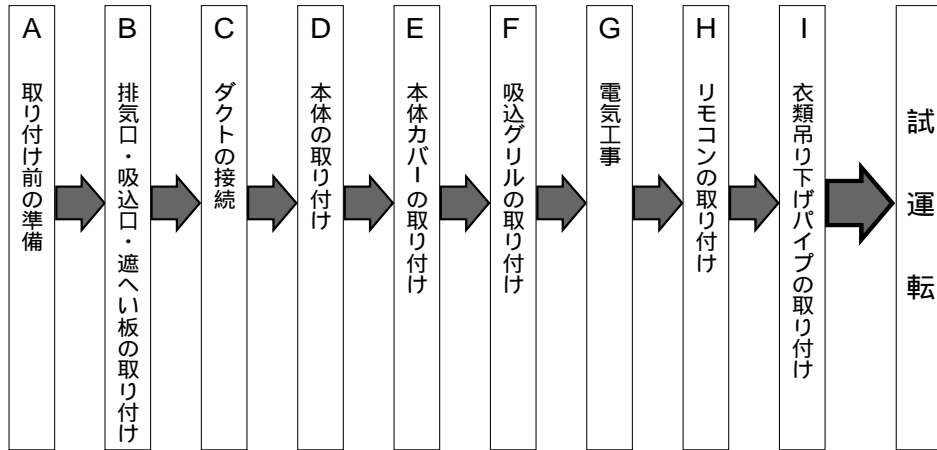
DBC-18SAL (照明スイッチ一体形) 照明スイッチは別売



施工手順

取り付け工事前に本体に、変形などの異常がないか確認してください。

取り付け時、板金部品の端面で手を滑らせると手が切れる場合がありますので手袋を着用してください。
製品を天吊りする場合は天吊補助棒DBT-18S1(別売)を購入し、取付方法は天吊補助棒の取付説明書で確認してください。



お願い

保守点検のため、点検口を必ず設けてください。

本体取付工事と電気工事の工事区分が異なる場合、本書（取付説明書）および関連部品を確実に電気工事業者へお渡しください。

試運転の前に再度、本体取り付けと電源接続やアース工事が確実にされているか確認してください。

電気工事で天井のふところが狭い場合、電源接続は本体取り付け前に行うか、あらかじめ点検口付近まで配線を行ってください。

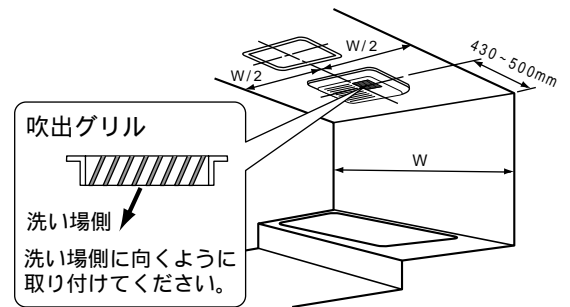
取り付け方法

A 取り付け前の準備

1 本体の取付方向・位置を決めます。

本体取り付けの推奨位置は右図の通りです。
吹出グリルの向きは4方向に変えることができます。

お願い
吹出し方向が洗い場側（衣類吊り下げ用パイプ側）に向くように吹出グリルを取り付け直してください。



2 浴室の天井に410×285mmの開口部を設けます。

天井板が塩ビ鋼板の場合には、開口部に錆び止め処理を施してください。

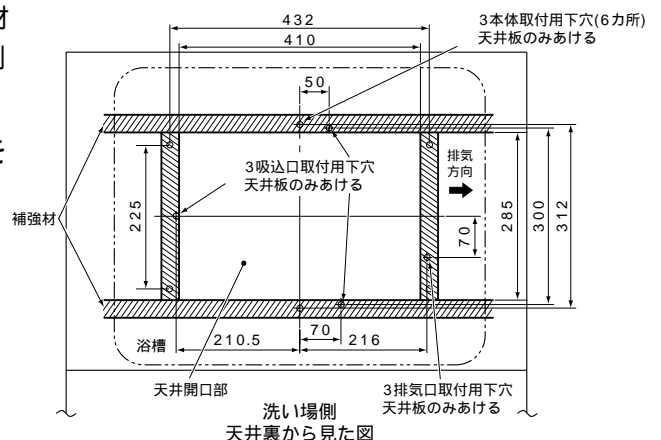
3 天井板に本体取付用下穴6カ所と排気口・吸込口・遮へい板取付用下穴4カ所をあけます。

ユニットバス天井裏に1mm以上の厚みの金属製補強材が取り付けられている場合は下穴加工(3)をし、天井面側に切りくずなどが残らないよう注意してください。

4 内寸が右図の寸法になるように天井補強材を設けます。

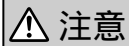
補強材は天井板を含め35mm以下としてください。これ以上厚くなると、施工・メンテナンスができません。

お願い
製品の質量(約10kg)に十分耐えるように、補強材は天井にしっかり固定してください。



取り付け方法 (つづき)

B 排気口・吸込口・遮へい板の取り付け



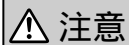
注意

吸込口のアルミ製シャッターに貼ってある水色テープ（輸送時固定用）をシャッターが外れたり、変形しないようにゆっくりはがす

1 排気口・吸込口・遮へい板のねじ固定位置を確認します。

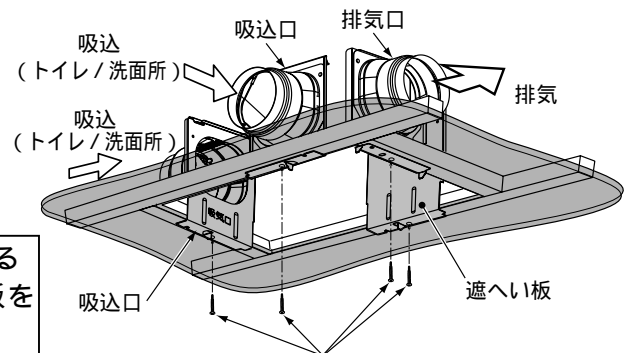
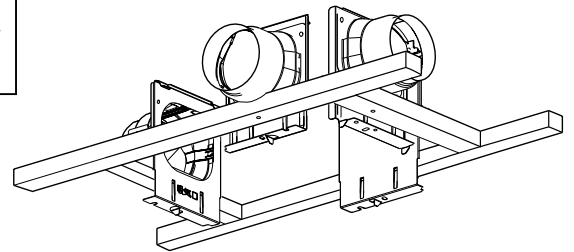
2 排気口・吸込口・遮へい板を付属のトラス
タッピンねじ（4本、4×40L）で固定
します。

イラストは3室換気用です。



注意

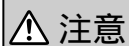
排気方向を確認して排気口を取り付ける
吸込方向を確認して吸込口、遮へい板を
取り付ける



トラスタッピンねじ(4本、4×40L)

C ダクトの接続

ダクト（不燃材料）を排気口・吸込口に差し込み、風漏れののないようテーピングします。

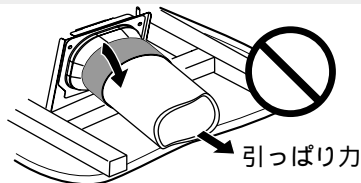


注意

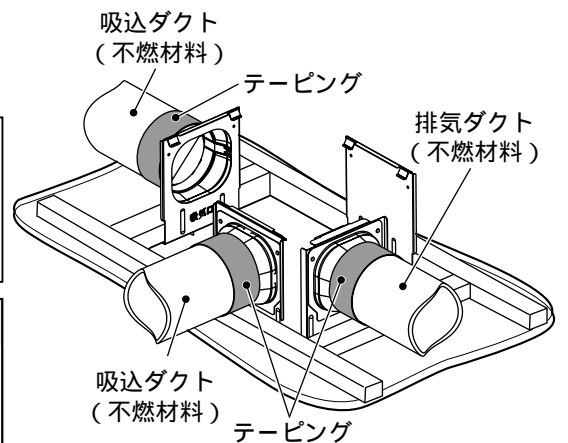
排気と吸込の方向を間違えないよう接続する
ダクトのビス打ち固定はシャッター開閉不良の原因となるので行わない

お願い

配管時にダクトに力がかからないようにしてください。

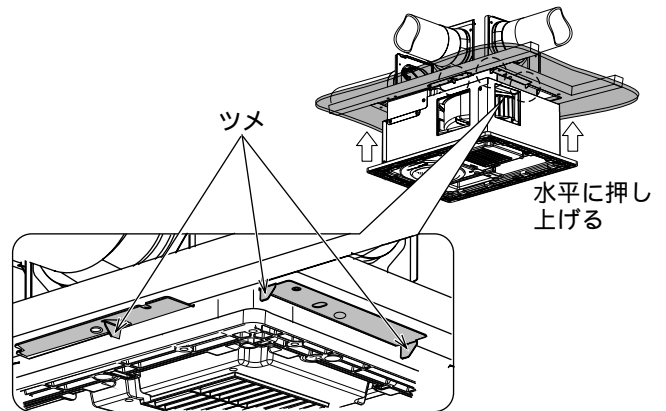


排気側ダクトは結露水の逆流を防ぐため、室外側を下げて取り付けてください。（勾配1/100～1/150）
ダクトは製品本体に力がかからないよう、天井裏のスラブより吊るしてください。

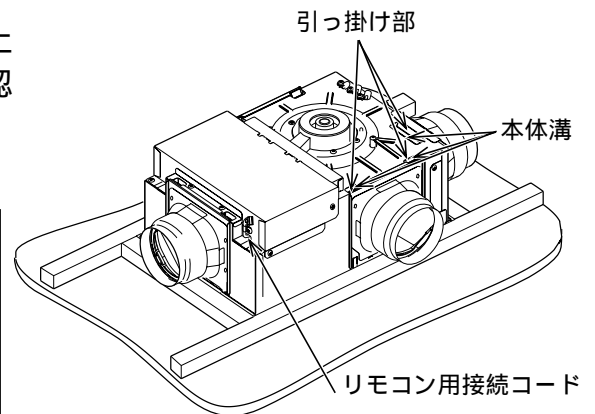


D 本体の取り付け

- 1 本体を天井開口部に水平に挿入し、排気口・吸込口・遮へい板の下部のツメが、本体フランジの長穴にはまり込むように取り付けます。



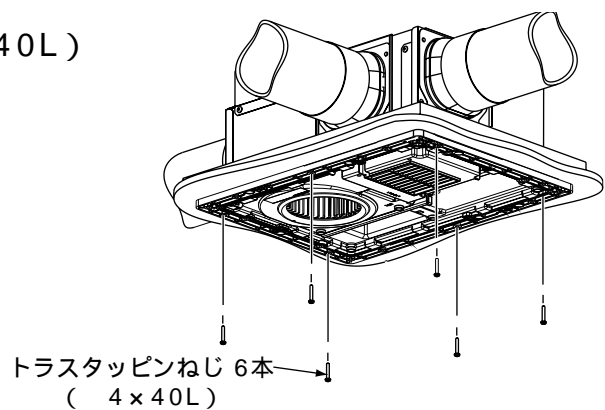
- 2 本体上面の溝と排気口・吸込口・遮へい板の上部の引っ掛け部がはまり込んでいることを確認してください。



⚠ 注意

上部の引っ掛け部と下部のツメはそれぞれ確実にはめこむ。
本体との密着が確実にないと、湿気漏れや本体カバーと天井面の隙間の原因になります。
取り付けの際、リモコンコード類を挟みこまない

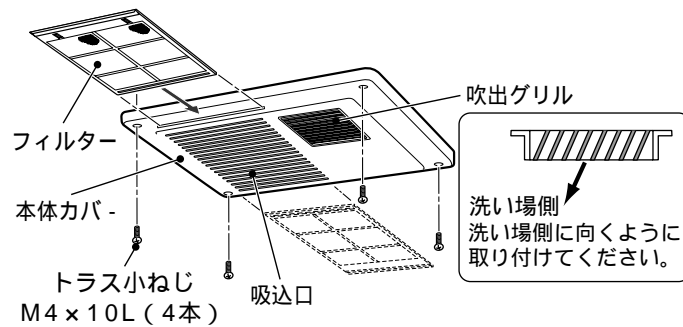
- 3 付属のトラスタッピンねじ(6本、4×40L)で確実に固定してください。



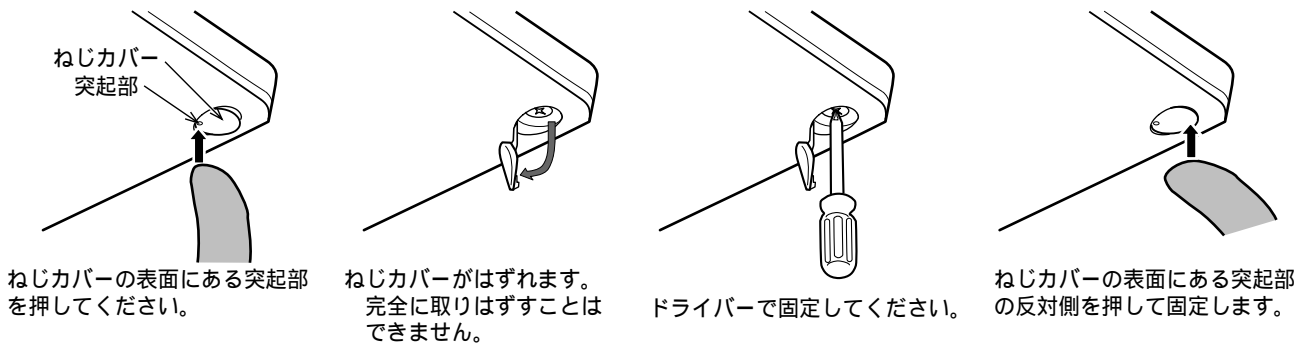
取り付け方法 (つづき)

E 本体カバーの取り付け

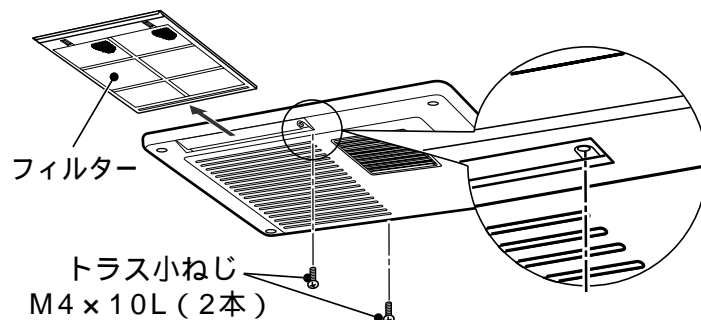
- 1 本体カバーからフィルターをはずします。
- 2 吹出し方向が洗い場側に向いていない場合は吹出グリルの向きを洗い場側に向くように変えてください。 A-1 (取り付け前の準備) 参照



- 3 本体カバーに付いているねじカバー (4個) をはずし、あらかじめ取り付けられているトラス小ねじ (4本、M4 × 10L) で本体カバーを固定してください。



- 4 本体カバー取付予備ねじを締める場合は、付属のトラス小ねじ (2本、M4 × 10L) で薄肉部 (2カ所) を貫通させて固定してください。



お願い

本体カバーのねじ固定は必ず手締めで行ってください。電動ドライバーなどで強く締め付けると、本体カバーが割れることがあります。本体カバー取付予備ねじの固定は天井面と本体カバーの隙間が気になる場合に行ってください。

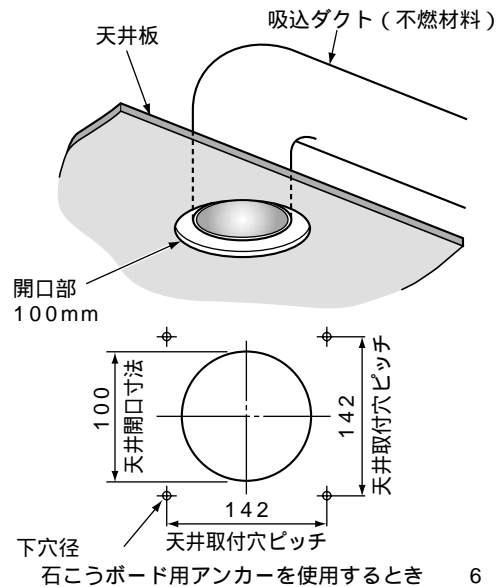
- 5 フィルターを洗い場側から差し込みます。

F 吸込グリルの取り付け

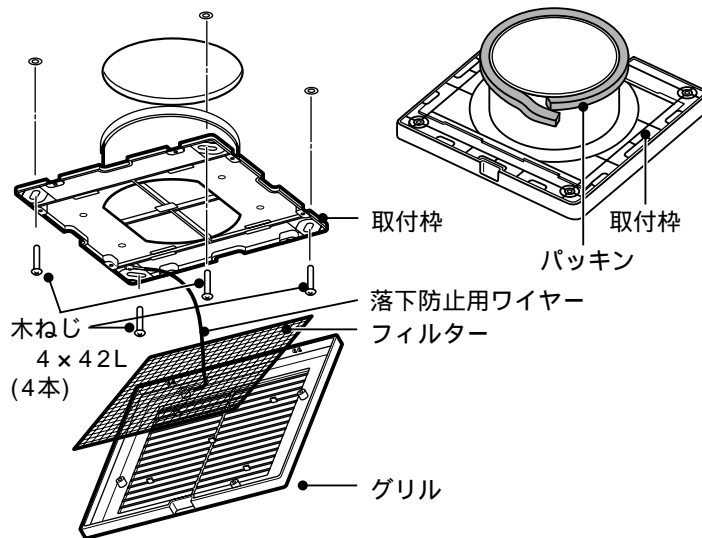
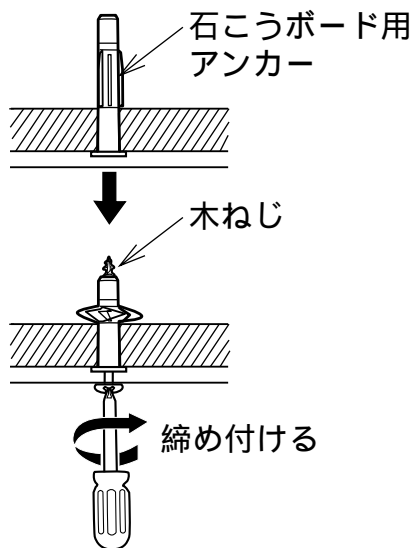
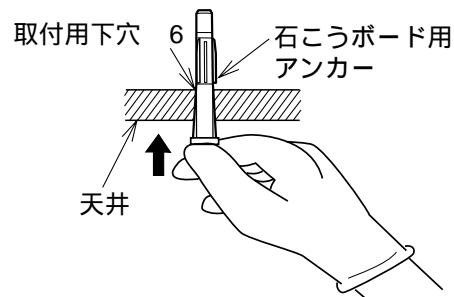
- 1 吸込ダクト（不燃材料）をトイレ・洗面所の天井材の開口部まで配管します。
- 2 天井材を張り、取り付け位置に右図を参照して開口部と取付用下穴（6）を開けます。
- 3 取付用下穴に付属の石こうボード用アンカー（4本）を差し込みます。

お願い

野縁に取り付ける場合は、付属の木ねじのみご使用ください。
天井板の厚みが12mmを超える場合は石こうボード用アンカーは使えません。



- 4 グリルと取付枠を外し、付属のパッキンを取付枠に貼り付けます。
- 5 取付枠をダクトにはめ込みます。
- 6 付属の木ねじ（4本、4×42L）で石こうボード用アンカーの位置に固定します。



お願い

ねじの締めすぎに注意してください。締め込みすぎると天井材が破損したり、クロスが破れる原因になります。

- 7 グリルと付属のフィルターを落下防止用ワイヤーをかみこまないように取付枠に取り付けます。

G 電気工事

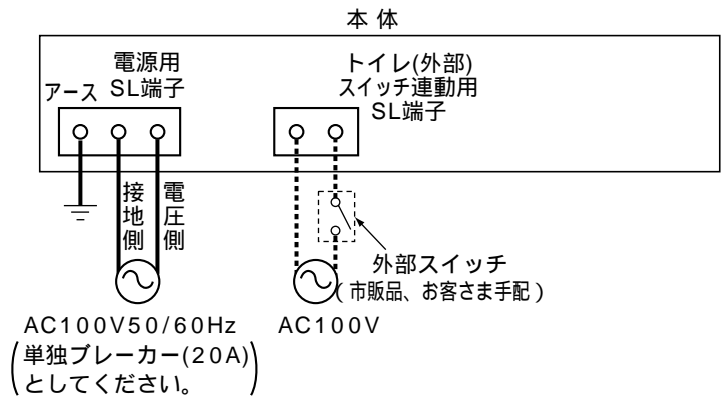
警告 電源は単相AC100Vを使用する

注意 電気工事・アース工事は電気設備技術基準や内線規程に従って、電気工事士が行う
アース工事はD種接地工事に基いて確実に行う
電源電線および接続電線の接続は確実に行う
電源電線は専用の分岐ブレーカー（20A）より配線する
アースを確実に取り付け漏電遮断器を設ける

お願い 専用の漏電遮断器を設置の場合は、過電流保護兼用で定格電流20A、高感度高速形（定格感度電流15mA・動作時間0.1秒以下）のものをお選びください。
天井のふところが狭い場合、電源接続は本体取り付け前に行うか、あらかじめ点検口付近まで配線を行ってください。

配線図

太線部を配線してください。
電源電線・アース線は2m以上の余裕をもって配線してください。



注意 より線は接続不良により発熱の恐れがあるため使用しない
SL端子は 1.6または 2mmの単線専用です。

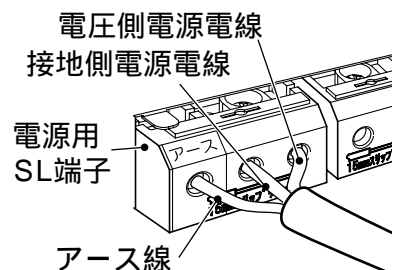
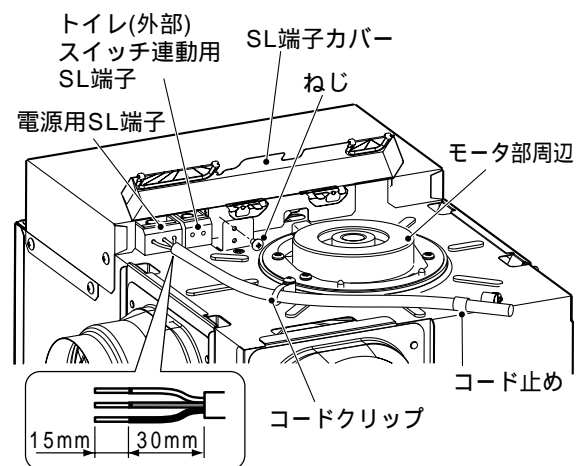
電源電線・アース線の接続

警告 電源用SL端子のアース接続部には電源電線を接続しない
感電・発煙・発火の原因になります。

注意 電源用SL端子にはトイレ（外部）スイッチ連動用接続電線を接続しない
トイレ（外部）スイッチが発煙・発火する原因になります。

- 1 ねじ1本をゆるめSL端子カバーを開けます。
- 2 電源電線を接続します。
電源用SL端子にAC100Vの電源電線（VVFケーブル1.6または2mm）の芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。
電線先端の皮むき寸法は15mmです。
電線外皮は30mmむいてください。
- 3 電源用SL端子のアース識別ラベルをはがし、アース線を接続します。
- 4 SL端子カバーを閉じて、ねじで固定します。
- 5 電源電線とアース線をコードクリップで束ねます。

お願い モータ部周辺に近づけないように配線してください。
ノイズによる誤動作の原因になります。



- 6 電源電線とアース線を固定します。
コード止めのねじをはずし、電源電線とアース線をまとめてコード止めにはさみ、はずしたねじで固定します。

トイレ（外部）スイッチを使用する場合

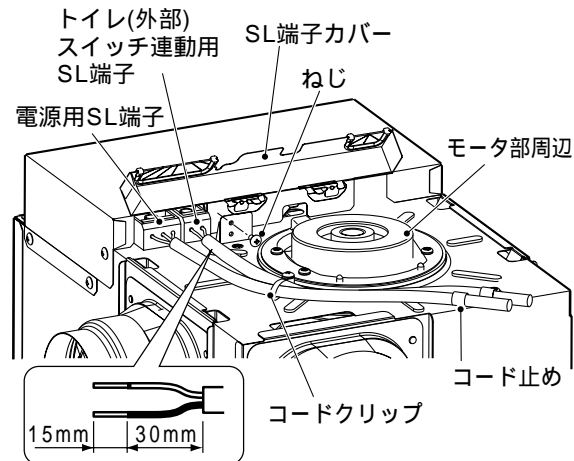


注意 電源用SL端子にはトイレ（外部）スイッチ連動用接続電線を接続しない
トイレ（外部）スイッチが発煙・発火する原因になります。

トイレ（外部）スイッチは、浴室換気乾燥機本体の換気ファンをトイレ/洗面所から「運転/停止」するために設置するスイッチです。

- 7 識別ラベルをはがし接続電線を接続します。**
 トイレ(外部)スイッチ用SL端子にAC100Vの接続電線（VVFケーブル 1.6またはまたは 2mm）の芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。
 電線先端の皮むき寸法は15mmです。
 電線外皮は30mmむいてください。

- 8 接続電線を固定します。**
 電源電線と同様に、コードクリップで束ねてコード止めで固定します。



お願い

モータ部周辺に近づけないように配線してください。
 ノイズによる誤動作の原因になる恐れがあります。

トイレ（外部）スイッチに適応可能な市販スイッチ

- ・トイレ、洗面所の「換気スイッチ」としてパイロットランプ付を使用する場合は、下表の（低ワット）スイッチを使用してください。
 - ・「換気スイッチ」を「照明スイッチ」と兼用する場合は、スイッチの定格は照明器の消費電力に合わせて下表より選定してください。
 - ・下表は2007年7月現在のものです。形名が変更される場合があります。
- また、使用の可否は弊社確認によるものですので、スイッチメーカーへのお問い合わせはご遠慮ください。

パイロットランプなしスイッチ

一般的な片切・3路兼用スイッチ（AC100V～300V）が使用できます。

パイロットランプ付（オンピカタイプ）

メーカー	形名	種類	品名	
東芝ライテック	NDG1451	E's	片切2線式	0.5A - 300Vオンピカ（低ワット用）
	NDG1453	E's	2線式3路	0.5A - 300Vオンピカ（低ワット用）
	NDG1431	E's	片切3線式	15A - 100Vオンピカ
	NWD1453	E'sワイド	片切・3路兼用	0.4A - 100Vオンオフピカ（低ワット用）
	NWD1431	E'sワイド	片切3線式	15A - 100Vオンピカ

照明回路一体型（遅れ回路付き）...照明スイッチと同時に操作できます。

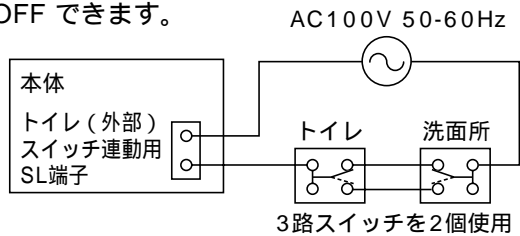
メーカー	形名	種類	品名	
東芝ライテック	NWD1722	E'sワイド	2回路遅動	12A - 100Vオンオフピカ（低ワット用）

G 電気工事 (つづき)

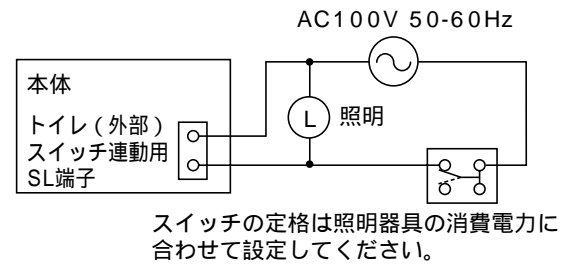
トイレ (外部) スイッチ用結線例

2カ所ON/OFF

任意方向にスイッチを倒すとトイレ (外部) スイッチをON/OFF できます。

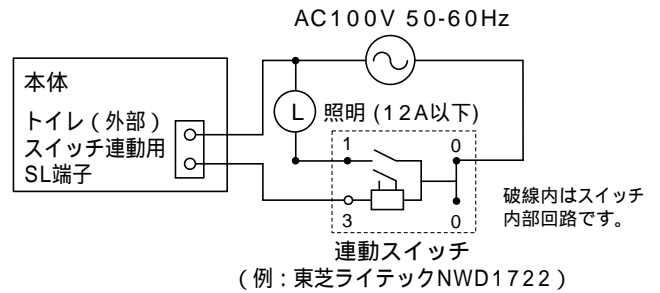


照明同一回路



照明同一回路 (照明 + 遅動スイッチを使用)

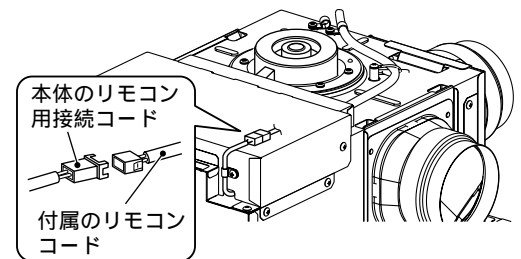
- トイレ / 洗面所で照明を消した後、一定時間後()に換気扇の運転を止めることができます。
- 1つのスイッチで換気と照明を同時にON/OFF できます。



リモコンコードの接続

- 9 付属のリモコンコードを本体側のリモコン用接続コードに接続します。
- 10 リモコンコードをリモコン取り付け位置まで配線します。

お願い コネクタはカチッというまで確実に接続してください。



Hリモコンの取り付け

取り付け前の準備

準備するねじ

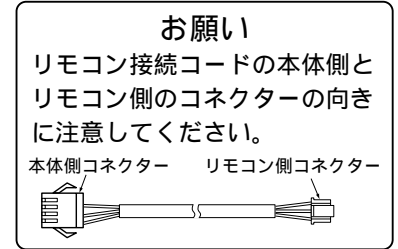
スイッチボックスに取り付ける場合 4×20L 皿ねじ

(標準タイプ：3本、照明タイプ：6本) 市販標準品

壁に取り付ける場合 4×35L 皿タップピンねじ(4本) 付属品

リモコンコード(製品本体同梱品、有効長5m)

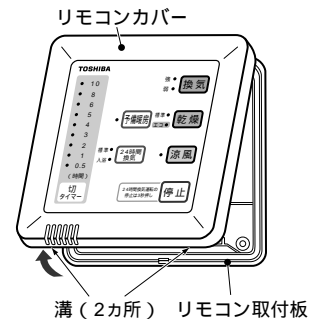
- ・リモコンコードの長さが足りない場合は、別売の応用部材「リモコンコード」DBC-18S(有効長10m)をご使用ください。また、製品本体同梱品のリモコンコードに接続して延長することはできません。
- ・本体側に約2m余裕をもって配線してください。(本体側結線時に天井からコードを降ろすことがあります)



取り付け手順

2個用スイッチボックスに取り付ける場合 (DBC-18SA)

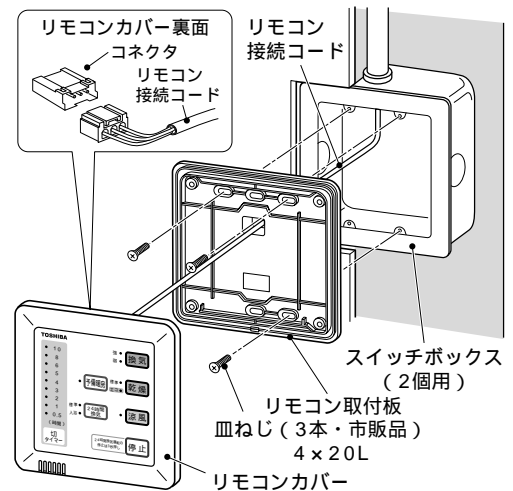
- 1 壁に市販の2個用スイッチボックスを埋め込み、リモコン接続コードを配線します。
- 2 マイナスドライバーをリモコンカバー下部の溝に差し込んで、リモコンカバーをリモコン取付板からはずします。
- 3 リモコン接続コードをリモコン取付板の穴に通した後、リモコン取付板をスイッチボックスに市販の皿ねじ(3本)で固定します。
- 4 リモコン接続コードをリモコンカバーのコネクタに接続します。



お願い

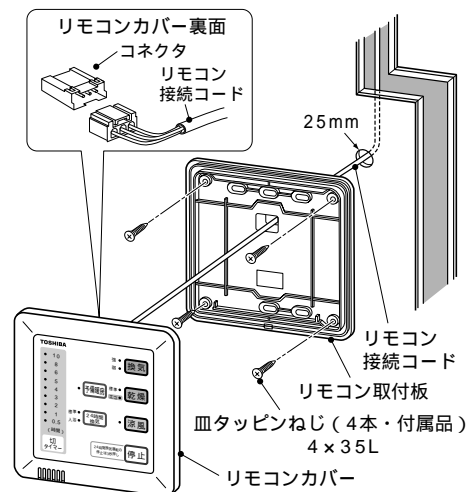
皿ねじを締めすぎないでください。リモコン取付板の角が浮いたり、ねじ穴部が割れる恐れがあります。コネクタはカチッとまで確実に接続してください。

- 5 リモコンカバーをリモコン取付板にはめ込みます。



壁に直接取り付ける場合 (DBC-18SA)

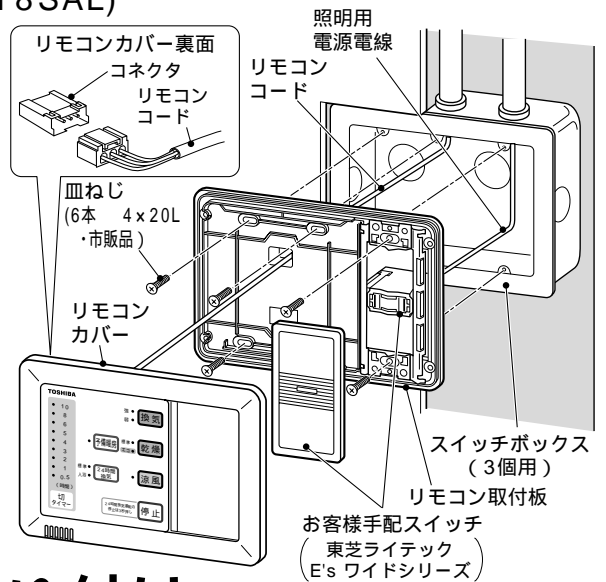
- 1 壁に 25mmの穴をあけ、リモコン接続コードを配線します。
- 2 マイナスドライバーをリモコンカバー下部の溝に差し込んで、リモコンカバーをリモコン取付板からはずします。
- 3 リモコン接続コードをリモコン取付板の穴に通した後、リモコン取付板を付属の皿タップピンねじ(4×35、4本)で壁に固定します。
- 4 リモコン接続コードをリモコンカバーのコネクタに接続します。
- 5 リモコンカバーをリモコン取付板にはめ込みます。



Hリモコンの取り付け (つづき)

3個用スイッチボックスに取り付ける場合 (DBC-18SAL)

- ① 壁に市販の3個用スイッチボックスを埋め込み、リモコンコードと照明用電源電線を配線します。
- ② マイナスドライバーをリモコンカバー下部の溝に差し込んで、リモコンカバーをリモコン取付板からはずします。
- ③ お客様手配の照明用スイッチを説明書に従い結線します。
- ④ リモコンコードをリモコン取付板の穴に通した後、リモコン取付板と照明用スイッチをスイッチボックスに市販の皿ねじ (6本) で固定します。
- ⑤ リモコンコードをリモコンカバーのコネクタに接続します。
- ⑥ リモコンカバーをリモコン取付板にはめ込みます。

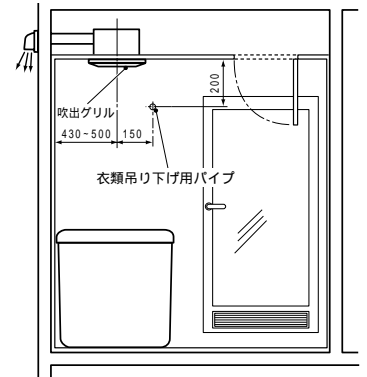


衣類吊り下げパイプの取り付け

右図の位置に市販の衣類吊り下げパイプを取り付けます。

お願い

パイプを購入されるときは必ず1本当たり4kg以上の重量に耐える不燃性および耐食性のものを入手してください。
パイプの取り付け位置は右図を基準としてください。
(基準の寸法以外で取り付けますと乾燥時間が長くなります。また基準の寸法より本体に近づけるとパイプが過熱し、やけどの原因になります。)



試運転および初めて電源を入れる場合

試運転の前に... 試運転の前にもう一度電源電線・リモコンコードの接続を確認して、AC100Vの分電盤ブレーカーを入れて試運転を行ってください。

電気工事が終了したら結線が間違っていないか確認して、製品本体の取扱説明書の使いかたを参照し、正常な運転ができるか、また、本体の取り付けが確実に振動・異常音がないことを確認してください。

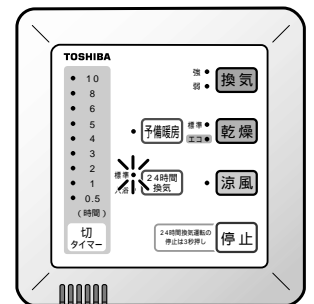
1 電源ブレーカーを入れます。

取り付け後初めて電源を入れると、24時間換気の「標準」運転ランプが点滅します。各運転モードのボタンを押すと、24時間換気の「標準」運転ランプが点灯に変わります。

2 取扱説明書にしたがい、「24時間換気」「換気」「乾燥」「予備暖房」「涼風」が正常に運転するか確認します。

- ・24時間換気・換気 ... 本体カバーの吸込口から換気していることを確認してください。
- ・乾燥・予備暖房 本体カバーの吹出グリルから温風が出ていることを確認してください。
- ・涼風 本体カバーの吹出グリルから風が出ていることを確認してください。

本製品には自己点検機能があり、運転ランプの点滅で異常内容を表示します。



表示	異常内容	処置
全てのランプが点滅(約1秒間に5回繰り返し)	200V印加	100V電源を接続し、再度ブレーカーを入れてください。
全てのランプが点滅(約1秒間に1回繰り返し)	本体とリモコンの選定間違い	本体に対応するリモコンに交換してください。
タイマー(1H)ランプが点滅	本体とリモコンの通信異常	リモコンコードとリモコンの接続を確認してください。
ボタンを押してもランプが点灯しない	リモコンコードの異常	リモコンコードとリモコンの接続、リモコンコードの断線を確認してください。

処置をしても症状が変わらない場合は、電源を切ってお買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

東芝キヤリア株式会社 換気統括部

〒108-8580 東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービルディング

ET9X413501-